



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 ジオマテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6907 URL <https://www.geomatec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 松崎 建太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員兼CFO (氏名) 河野 淳 (TEL) 045-222-5720
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|-------|-------|--------|---|--------|---|-----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期 | 6,306 | 15.7 | △89 | — | △17 | — | △701 | — |
| 2020年3月期 | 5,449 | △13.3 | △1,206 | — | △1,159 | — | △3,511 | — |

(注) 包括利益 2021年3月期 △611百万円(—%) 2020年3月期 △3,594百万円(—%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後1株 当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2021年3月期 | △88 63 | — | △6.6 | △0.1 | △1.4 |
| 2020年3月期 | △443 94 | — | △27.3 | △6.1 | △22.1 |

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期 | 15,913 | 10,392 | 65.3 | 1,313.85 |
| 2020年3月期 | 15,390 | 11,004 | 71.5 | 1,391.19 |

(参考) 自己資本 2021年3月期 10,392百万円 2020年3月期 11,004百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2021年3月期 | △537 | △1,733 | 475 | 6,127 |
| 2020年3月期 | 14 | △235 | △392 | 7,899 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2022年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 2,980 | 2.4 | △20 | — | 5 | — | △2 | — | △0.25 |
| 通期 | 6,350 | 0.7 | 10 | — | 50 | — | 36 | — | 4.55 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期 | 9,152,400株 | 2020年3月期 | 9,152,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期 | 1,242,116株 | 2020年3月期 | 1,242,116株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2021年3月期 | 7,910,284株 | 2020年3月期 | 7,910,284株 |

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|-------|--------|---|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期 | 5,477 | 20.9 | △10 | — | 43 | — | △289 | — |
| 2020年3月期 | 4,529 | △15.6 | △1,075 | — | △1,027 | — | △4,201 | — |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後1株 当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | △36.63 | — |
| 2020年3月期 | △531.17 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期 | 16,346 | 10,902 | 66.7 | 1,378.25 |
| 2020年3月期 | 15,446 | 11,154 | 72.2 | 1,410.09 |

(参考) 自己資本 2021年3月期 10,902百万円 2020年3月期 11,154百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、決算短信添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、2021年5月14日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 2 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| 連結損益計算書 | 6 |
| 連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (表示方法の変更) | 12 |
| (連結貸借対照表関係) | 12 |
| (連結損益計算書関係) | 12 |
| (セグメント情報) | 13 |
| (1株当たり情報) | 13 |
| (重要な後発事象) | 13 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により景気は急速に悪化しましたが、各種政策効果や海外経済の改善により、年後半にかけては個人消費や輸出に持ち直しの動きが見られました。年明け以降は、一部地域において緊急事態宣言が発出されるなど新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念されており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、当社の主力製品が関連するスマートフォン市場において、液晶パネル関連需要の減速と、有機ELパネルへの代替といった環境変化により引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下において、当社グループは、特定市場への依存偏重から成長分野へ、また、受託加工專業から表面加工ソリューション業への事業領域拡張を図るとともに、経営体質のさらなる強化に取り組んで参りました。

これまで主力としてきたスマートフォン向けに加え、自動車向けにFPD用基板やその他製品の販売活動を積極的に実施したことや、表面加工ソリューションとして成膜加工に関する生産ラインの構築から技術指導までを請け負う取引を実現させたことなどにより、売上高は6,306百万円（前期比15.7%増）となりました。

損益につきましては、経営体質強化として前期に実施した転進支援制度や固定資産の減損処理により固定費が圧縮されたことや、エネルギー費など製造原価の削減に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により出張旅費などの経費が減少したことなどから、営業損失は89百万円（前期は1,206百万円の営業損失）、経常損失は17百万円（前期は1,159百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は、固定資産の減損損失683百万円を計上したことなどにより、701百万円（前期は3,511百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。なお、当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、品目別に記載しております。

(FPD用基板)

液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜は、自動車向けはメーターパネルやその他表示器機のフラットパネル化が進んでいることから受注は堅調に推移いたしました。スマートフォン向けは、第3四半期に米国スマートフォンメーカー向けで受注増加があったものの、全体としては液晶パネル関連需要の減速や米中対立による中国スマートフォンメーカーの生産減少の影響を受けるなど厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は3,102百万円（前期比8.8%増）となりました。

(その他)

カバーパネル向け反射防止・防汚膜は引き続き自動車向けを中心に堅調に推移いたしました。また、その他の薄膜製品についても多種多様な製品向けに販売活動に取り組むとともに、当連結会計年度においては、初めて表面加工ソリューション取引を実現いたしました。

この結果、売上高は3,203百万円（前期比23.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ522百万円増加し、15,913百万円となりました。

これは主に、流動資産では現金及び預金が1,471百万円、有価証券が399百万円それぞれ減少し、受取手形及び売掛金が1,307百万円増加し、固定資産では投資有価証券が1,012百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,134百万円増加し、5,520百万円となりました。これは主に、流動負債では支払手形及び買掛金が822百万円減少し、固定負債では長期借入金が450百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ611百万円減少し、10,392百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が701百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は65.3%、1株当たり純資産額は1,313円85銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,771百万円減少し、6,127百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は537百万円（前期は14百万円の獲得）となりました。

これは主に、売上が増加したことにより売上債権と仕入債務が増加し、純額で481百万円の資金減少要因があったことや前連結会計年度に実施した転進支援制度による特別退職金の支払い268百万円があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,733百万円（前期比635.0%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出889百万円があったことや投資有価証券の取得による支出1,000百万円があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は475百万円（前期は392百万円の使用）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入1,050百万円と長期借入金の返済による支出571百万円であります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 2021年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 52.7 | 68.2 | 65.2 | 71.5 | 65.3 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 20.8 | 36.8 | 26.1 | 15.7 | 47.2 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) | 1.6 | 1.5 | 13.0 | 92.2 | — |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 118.5 | 168.0 | 32.3 | 4.0 | — |

(注) 自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

※ 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を使用しております。

※ 2021年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルスに対するワクチン接種の広がりや各国財政支援等により緩やかな回復傾向にありますが、新たな変異株の発生による感染の再拡大や米中対立の激化といった下振れリスクが残存するなど、先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

このような環境の下、当社グループは対処すべき課題として、①成膜加工QCDT (Quality, Cost, Delivery, Technology) の更なる強化、②特定市場への過度な依存からの脱皮、③経営体質の更なる強化の3つを掲げ収益の改善を図ってまいります。

2022年3月期における当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き事業及び商材ポートフォリオの転換を図るべく取り組んでいくものの、スマートフォン向けFPD用基板需要減少の影響は大きく、今後も厳しい状況が続くと予想されます。2022年3月期の通期業績といたしましては、売上高は6,350百万円、営業利益は10百万円、経常利益は50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は36百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,599,838 | 6,127,880 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,831,350 | 4,139,239 |
| 有価証券 | 399,999 | — |
| 商品及び製品 | 78,528 | 34,251 |
| 仕掛品 | 231,631 | 215,024 |
| 原材料及び貯蔵品 | 974,706 | 1,077,224 |
| その他 | 124,175 | 117,545 |
| 貸倒引当金 | △292 | △422 |
| 流動資産合計 | 12,239,936 | 11,710,744 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 8,977,004 | 8,909,525 |
| 減価償却累計額 | △8,651,424 | △8,666,025 |
| 建物及び構築物 (純額) | 325,580 | 243,500 |
| 機械装置及び運搬具 | 19,931,864 | 19,449,701 |
| 減価償却累計額 | △19,748,912 | △19,134,303 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 182,951 | 315,398 |
| 工具、器具及び備品 | 1,261,027 | 1,255,545 |
| 減価償却累計額 | △1,187,693 | △1,184,998 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 73,334 | 70,547 |
| 土地 | 1,084,198 | 1,084,198 |
| 使用権資産 | 35,860 | 36,610 |
| 減価償却累計額 | △2,975 | △6,300 |
| 使用権資産 (純額) | 32,885 | 30,309 |
| 建設仮勘定 | 57,861 | 87,549 |
| 有形固定資産合計 | 1,756,810 | 1,831,504 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 38,393 | 24,822 |
| 投資有価証券 | 638,120 | 1,650,773 |
| 長期貸付金 | 45,895 | 33,031 |
| その他 | 672,648 | 663,323 |
| 貸倒引当金 | △1,008 | △1,005 |
| 投資その他の資産合計 | 1,355,657 | 2,346,123 |
| 固定資産合計 | 3,150,861 | 4,202,450 |
| 資産合計 | 15,390,797 | 15,913,195 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,949,396 | 2,771,835 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 462,064 | 489,500 |
| 未払法人税等 | 44,179 | 39,619 |
| 賞与引当金 | 120,243 | 130,178 |
| 設備関係支払手形 | 103,535 | 71,237 |
| その他 | 629,919 | 497,741 |
| 流動負債合計 | 3,309,338 | 4,000,113 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 851,504 | 1,302,081 |
| 繰延税金負債 | 6,828 | 7,260 |
| 役員退職慰労引当金 | 5,100 | 5,100 |
| 退職給付に係る負債 | 194,555 | 187,349 |
| その他 | 18,785 | 18,317 |
| 固定負債合計 | 1,076,774 | 1,520,108 |
| 負債合計 | 4,386,112 | 5,520,221 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,043,850 | 4,043,850 |
| 資本剰余金 | 8,297,350 | 8,297,350 |
| 利益剰余金 | △214,832 | △915,957 |
| 自己株式 | △1,311,155 | △1,311,155 |
| 株主資本合計 | 10,815,211 | 10,114,087 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,974 | 41,958 |
| 為替換算調整勘定 | 169,284 | 183,273 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 16,215 | 53,654 |
| その他の包括利益累計額合計 | 189,473 | 278,886 |
| 純資産合計 | 11,004,685 | 10,392,973 |
| 負債純資産合計 | 15,390,797 | 15,913,195 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 5,449,419 | 6,306,481 |
| 売上原価 | 4,972,828 | 4,915,762 |
| 売上総利益 | 476,591 | 1,390,718 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,682,646 | 1,480,321 |
| 営業損失(△) | △1,206,055 | △89,603 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 19,034 | 12,037 |
| 受取配当金 | 9,949 | 8,000 |
| 為替差益 | — | 22,656 |
| 不動産賃貸料 | 5,296 | 5,280 |
| その他 | 25,767 | 49,630 |
| 営業外収益合計 | 60,048 | 97,605 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,639 | 6,237 |
| 投資事業組合運用損 | 5,077 | 6,787 |
| 固定資産除却損 | 586 | 5,993 |
| 支払補償費 | — | 3,850 |
| その他 | 4,152 | 3,113 |
| 営業外費用合計 | 13,456 | 25,982 |
| 経常損失(△) | △1,159,463 | △17,980 |
| 特別利益 | | |
| 補助金収入 | — | 23,786 |
| 投資有価証券売却益 | 60,008 | 8,414 |
| 固定資産売却益 | 6,461 | 6,078 |
| 特別利益合計 | 66,470 | 38,279 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 2,037,960 | 683,307 |
| 固定資産圧縮損 | — | 23,786 |
| 特別退職金 | 268,273 | — |
| 投資有価証券評価損 | 93,119 | 689 |
| 投資有価証券売却損 | 3,240 | — |
| 固定資産処分損 | 2,472 | — |
| 特別損失合計 | 2,405,066 | 707,783 |
| 税金等調整前当期純損失(△) | △3,498,059 | △687,484 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13,640 | 13,640 |
| 法人税等合計 | 13,640 | 13,640 |
| 当期純損失(△) | △3,511,699 | △701,124 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | △3,511,699 | △701,124 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純損失(△) | △3,511,699 | △701,124 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,675 | 37,984 |
| 為替換算調整勘定 | △34,603 | 13,989 |
| 退職給付に係る調整額 | △66,871 | 37,439 |
| その他の包括利益合計 | △82,799 | 89,413 |
| 包括利益 | △3,594,499 | △611,711 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △3,594,499 | △611,711 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 4,043,850 | 8,297,350 | 3,415,520 | △1,311,155 | 14,445,565 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △118,654 | | △118,654 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | △3,511,699 | | △3,511,699 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | △3,630,353 | — | △3,630,353 |
| 当期末残高 | 4,043,850 | 8,297,350 | △214,832 | △1,311,155 | 10,815,211 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|--------------|---------------|------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | △14,701 | 203,887 | 83,087 | 272,273 | 14,717,838 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △118,654 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | | | △3,511,699 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 18,675 | △34,603 | △66,871 | △82,799 | △82,799 |
| 当期変動額合計 | 18,675 | △34,603 | △66,871 | △82,799 | △3,713,153 |
| 当期末残高 | 3,974 | 169,284 | 16,215 | 189,473 | 11,004,685 |

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|----------|------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 4,043,850 | 8,297,350 | △214,832 | △1,311,155 | 10,815,211 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | △701,124 | | △701,124 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | △701,124 | — | △701,124 |
| 当期末残高 | 4,043,850 | 8,297,350 | △915,957 | △1,311,155 | 10,114,087 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|--------------|---------------|------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 3,974 | 169,284 | 16,215 | 189,473 | 11,004,685 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | | | △701,124 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 37,984 | 13,989 | 37,439 | 89,413 | 89,413 |
| 当期変動額合計 | 37,984 | 13,989 | 37,439 | 89,413 | △611,711 |
| 当期末残高 | 41,958 | 183,273 | 53,654 | 278,886 | 10,392,973 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純損失(△) | △3,498,059 | △687,484 |
| 減価償却費 | 296,663 | 136,719 |
| 減損損失 | 2,037,960 | 683,307 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △6,461 | △6,078 |
| 固定資産処分損益(△は益) | 2,472 | — |
| 固定資産圧縮損 | — | 23,786 |
| 補助金収入 | — | △23,786 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 93,119 | 689 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △56,768 | △8,414 |
| 特別退職金 | 268,273 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △195 | 127 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △12,064 | 9,934 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 3,275 | 30,233 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △3,000 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △28,984 | △20,038 |
| 支払利息 | 3,639 | 6,237 |
| 投資事業組合運用損益(△は益) | 5,077 | 6,787 |
| 為替差損益(△は益) | 13,767 | △18,684 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 3,889,898 | △1,302,415 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 325,406 | △38,501 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | 61,848 | △10,974 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △3,451,764 | 820,799 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 42,694 | 77,986 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | 16,668 | 48,508 |
| その他 | 352 | 0 |
| 小計 | 3,819 | △271,260 |
| 利息及び配当金の受取額 | 27,648 | 22,171 |
| 利息の支払額 | △3,579 | △6,488 |
| 特別退職金の支払額 | — | △268,273 |
| 法人税等の支払額 | △13,640 | △13,640 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 14,248 | △537,490 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | — | 99,999 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △638,584 | △889,567 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 39,209 | 6,114 |
| 補助金の受取額 | — | 18,786 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,047 | △12,043 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △10,561 | △1,000,000 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 378,260 | 26,700 |
| 貸付けによる支出 | △36,961 | △9,627 |
| 貸付金の回収による収入 | 33,790 | 25,874 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △235,895 | △1,733,762 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 350,000 | 1,050,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △622,294 | △571,987 |
| リース債務の返済による支出 | △2,037 | △2,130 |
| 配当金の支払額 | △118,654 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △392,986 | 475,882 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △23,939 | 23,412 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △638,572 | △1,771,957 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,538,410 | 7,899,838 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 7,899,838 | 6,127,880 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「固定資産除却損」(前連結会計年度586千円)は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」4,739千円は、「固定資産除却損」586千円、「その他」4,152千円として組替えております。

(連結貸借対照表関係)

取引先からの有償支給材料に係る代金相当額が次の科目に含まれております。なお、有償支給材料代金は、「売上高」及び「売上原価」から控除して表示しております。

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|-----|-------------------------|-------------------------|
| 売掛金 | 1,218,169千円 | 2,027,716千円 |
| 仕掛品 | 80,375千円 | 47,191千円 |
| 原材料 | 118,224千円 | 170,352千円 |
| 買掛金 | 1,436,629千円 | 2,267,014千円 |

(連結損益計算書関係)

減損損失

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

| 用途 | 場所 | 種類 | 減損損失 |
|------|----------------------------------|--------------|-------------|
| 製造設備 | 当社金成工場(宮城県栗原市) 当社赤穂工場(兵庫県赤穂市) | 機械装置、建物及び土地等 | 1,843,960千円 |
| 製造設備 | 吉奥馬科技(無錫)有限公司 本社工場(中国江蘇省無錫市) | 建物及び機械装置等 | 140,320千円 |
| 共用資産 | 当社R&Dセンター(東京都大田区)他 | 建物及び機械装置等 | 53,678千円 |

資産のグルーピングについては、継続して収支を把握している工場単位を基礎に工場間の相互補完性を考慮して行っております。また、賃貸用資産、遊休資産については、個々の物件を資産グループとしております。

当社グループは、事業環境の変化に伴う収益性の低下が継続していることから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、上記減損損失の内訳は、建物及び構築物404,598千円、機械装置及び運搬具961,567千円、土地497,553千円、その他174,240千円であります。

また、回収可能価額は正味売却価額により算定しており、正味売却価額の算定方法は不動産鑑定評価基準等を用いた時価から処分費用見込額を控除して算定しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

| 用途 | 場所 | 種類 | 減損損失 |
|------|----------------------------------|--------------|-----------|
| 製造設備 | 当社金成工場（宮城県栗原市） 当社赤穂工場（兵庫県赤穂市） | 機械装置及び建設仮勘定等 | 269,740千円 |
| 製造設備 | 吉奥馬科技（無錫）有限公司 本社工場（中国江蘇省無錫市） | 建物及び機械装置等 | 349,968千円 |
| 共用資産 | 当社R&Dセンター（東京都大田区） | 器具備品及び建設仮勘定等 | 63,599千円 |

資産のグルーピングについては、継続して収支を把握している工場単位を基礎に工場間の相互補完性を考慮して行っております。また、賃貸用資産、遊休資産については、個々の物件を資産グループとしております。

当社グループは、事業環境の変化に伴う収益性の低下が継続していることから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、上記減損損失の内訳は、機械装置及び運搬具274,103千円、工具、器具及び備品92,694千円、建設仮勘定224,417千円、その他101,714千円であります。

また、回収可能価額は正味売却価額により算定しており、正味売却価額の算定方法は不動産鑑定評価基準等を用いた時価から処分費用見込額を控除して算定しております。

（セグメント情報）

当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

| | 前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日） | 当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日） |
|---------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,391円19銭 | 1,313円85銭 |
| 1株当たり当期純損失（△） | △443円94銭 | △88円63銭 |

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日） | 当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日） |
|-------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純損失（△） （千円） | △3,511,699 | △701,124 |
| 普通株主に帰属しない金額（千円） | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円） | △3,511,699 | △701,124 |
| 普通株式の期中平均株式数（株） | 7,910,284 | 7,910,284 |

（重要な後発事象）

該当事項はありません。